

部落解放研究 第50回 倉吉市集会の開催

日時 9月17日(土) 14:00~15:40

演題 水平社宣言から100年を迎えて
新型コロナウイルス感染症と人権問題 戦争と平和
講師 内田 龍史(関西大学教授)



※ 会場に参加出来る人は実行委員会の方々です。

オンラインで参加しましょう(QRコードは倉吉市のホームページから)

一人で悩まないで 困ったときの相談は人権文化センターへ

毎日生活をしているといろいろな困り事が起きます。些細なことでも本人にとっては重大な問題もあります。倉吉市人権文化センターでは、日々の暮らしの中での困り事や不安なことに対して相談に応じています。気軽に連絡を下さい。 ☎・FAX 0858-22-4768

住宅の困り事から

- ・住むところに困っている
- ・アパート代が払えない
- ・電気、ガス代が払えない



仕事探しから

- ・仕事が決まらない
- ・職場の人になじめない
- ・上司から虐められる
- ・資格がとりたい



子どもの相談から

- ・引きこもっている
- ・ニートの家族がいる
- ・子どもが不登校になっている
- ・近所の子供が虐待を受けている。



生活の中から

- ・生活費がない
- ・返済に困っている
- ・食べ物がない
- ・入院費に困っている



差別落書きは絶対だめです。！！

差別落書きを見つけたらすぐ通報してください。
誹謗中傷するような落書きは決して許されません。

☎22-4768

倉吉市人権文化センターだより

2022年9月1日 発行 No.140号
発行所：倉吉市人権文化センター
住所：倉吉市鍛冶町1丁目2971-2
電話/FAX：0858-22-4768
メールアドレス：jinkenbunka@ncn-k.net

ますな

「幸せな人生を創造するわたしの生き方」～音楽と共に～

講師： 井谷優太さん(サウンドクリエイター) (8月27日講演会より)

8月27日(土)第4回人権のための同和教育講演会が開催されました。

井谷さんは、1歳児の乳幼児検診で脳性まひと診断され、手足に障がいがあります。倉吉で一人暮らしをされており、映像に音楽を入れるサウンドクリエイターとして活躍しています。小学1年生から親元を離れ養護学校、特別支援学校で学び、卒業後は自宅から通える作業所でパソコン入力の仕事をしていました。毎日同じ繰り返しではつまらない、「自分が社会から認められているかどうか計るのは、一人では無理なので社会に交わること」と考え鳥の劇場で俳優をしたり、以前から音楽とゲームが好きだったので、映像に音楽を入れるサウンドクリエイターとして頑張っておられます。

社会に出て参加すればするほど、世の中にはいろいろな生き方がある。障がいがあってもなくても何にも制限のない社会になってほしいと話されました。

この講演会に参加して感じたことは、身近に頑張っている人がいるのに、少しも気づかなかった自分がいる。

つまり、自分には関係ないという考えがどこかにあったのでは
ないかと振り返ることが出来ました。

私たちが住む社会にはいろいろな制限が設けられています。

男女の差、障がいのある・ない人の差、国籍の違い、性の違い、
さまざまな違いや差が人とのつながりを途絶えさせたり、能力があっても発揮できない状況に置かれることがあります。発信している情報をキャッチし機会があれば講演会等に参加してみましょう。



水害から身を守ろう！



9月1日は「防災の日」とされており、8月30日から9月5日は「防災週間」と定められています。

☆ 避難勧告から避難指示へ

中でも、近年、大型台風やゲリラ豪雨といった水害の被害が拡大してきています。鳥取県でも、2021（令和3）年7月7日から7月8日にかけて、山陰地方に線状降水帯がかかり、災害級の大雨となりました。倉吉市は24時間の雨量が307.5mmを記録し、7月の観測史上最大の大雨となり、道路の冠水や土砂崩れなどの被害が確認されました。このように毎年起こる災害ではありますが、地震や火災などの災害に比べ、未だ防災意識が浸透していない現状があります。

災害が起きてしまいそうな際、最も大切なのは**早めの避難**です。令和3年度から災害対策基本法の改正により、避難勧告が廃止され、**避難指示**に一本化されたのは記憶に新しいと思います。

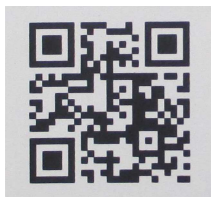
5	災害発生又は切迫	緊急安全確保※1
〜警戒レベル4までに必ず避難！〜		
4	災害のおそれ高い	避難指示※2
3	災害のおそれあり	高齢者等避難※3
2	災害状況悪化	大雨・洪水・高潮注意報（気象庁）
1	今後災害状況悪化のおそれ	早期注意情報（気象庁）

レベル4までに避難しましょう。避難に時間がかかってしまうと、思われる方はレベル3のうちに安全な場所に避難しましょう！防災無線の放送をよく聞いて、適切な行動をとりましょう！

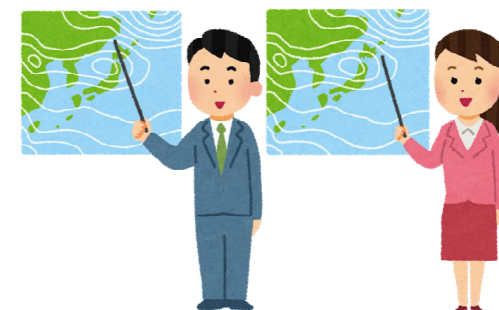


たげんごたいおう
多言語対応

multi-lingual support



ざいじゅうがいこくじん
在住外国人のみなさまへ
きしょうちょう ぼうさい かん しょうほう
気象庁の防災に関する情報はこちらから
らん
でもご覧になれます。



☆ 被害を最小限にするために

何気なく聞いているニュースや気象情報にも防災に関する情報は沢山含まれています。例えば、「今日は午後から強い雨になる見込みがある」というような情報はニュースや新聞などでご覧になったことが多々あるかと思います。この「強い雨」と言った言葉、実は、気象庁がきちんと基準を定めている言葉なのです。

雨の強さと降り方

（出典：気象庁）

10ミリ～20ミリ	20ミリ～30ミリ	30ミリ～50ミリ	50ミリ～80ミリ	80ミリ以上
やや強い雨 ザーザーと降る	強い雨 どしゃ降り	激しい雨 バケツをひっくり返したように降る	非常に激しい雨 滝のように降る（ゴーゴーと降り続ける）	猛烈な雨 息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。

☆ 防災は日々の意識から！

防災は日々のちょっとした心がけで行う事が出来ます。

避難に必要な道具はきちんと揃っているかを確認したり、ハザードマップをあらかじめ見ておくなど、少しのことで防災に関する意識は高まります。

「このくらい大丈夫」と思い込む前に、少しでも不安に感じたら地域の人や近所の人、家族同士で声を掛け合い早めの避難を心がけましょう。

※イラストは気象庁より引用

